

## JPGIS 準拠の XML データ及び検定図の検定について

JPGIS 準拠 XML による数値地形図データ及び検定図の検定は次の内容で行います。

### 1. 検定図の点検

提出された検定図について、適用した作業規程、図式規定等の規定の適用の良否、現地調査写真等の内容の反映等について目視による点検を行います。

### 2. 数値地形図データの点検

1) 検定図の点検完了後、数値地形図データファイルの目視点検と論理点検を行います。数値地形図データファイルの目視点検は、前項の点検済み検定図とデータファイルの内容が同一であることを点検します。したがって、数値地形図データファイルの提出時に、検定図も再送付してください。

2) 数値地形図データファイルの論理点検は、次のとおりです。

(1) 点検のために提出していただくデータファイル

・数値地形図データファイル：

JPGIS ver. 1.0 XML 形式、あるいは、JPGIS ver. 2.0 XML 形式

・XML スキーマ

・コードリスト

・メタデータ

・「ルールファイル」及び「コード定義ファイル」：

このルールファイル及びコード定義ファイルは、貴社が作成した（データ記述の自由度の高い）地理空間情報ファイルを当協会の検定プログラムに読み込むために不可欠なファイルです。

このファイルは原則として、貴社において作成し、提出していただく必要があります。ファイルの作成方法につきましては、別紙の「JPGIS準拠データの論理点検用ルールファイル等作成マニュアル」を参照してください。

(2) 論理一貫性の点検を行います。論理一貫性の点検は、概念一貫性、定義域一貫性、フォーマット一貫性及び位相一貫性を点検します。また、図形間点検として「接している」、「交差している」も行います。メタデータについても行います。

なお、現時点では、当協会の検定はIS019118(地理情報 符号化)に従って作成されたデータを対象として点検を行います。IS01936(地理情報 マー

ク付き言語)には対応していませんのでご了承下さい。

以上